

社会「中島」の縁 能登に思いを
全国に二つ
しかなかった
中島町という
自治体名が縁
で、姉妹町関
係を結んでい
た愛媛・石川
両県の「中島」
が、再び強くなつた。松山市中島地域の
住民が、能登半島地震で被災した七尾市中島
町に心を寄せ「自分たちができることを」と
行動に移している。

令和6年2月28日(水)愛媛新聞の取材を受けました。
朝、被服室にて、新谷和志公民館長様から当時の交流の様子をご講
話いただいた後、言葉となって一人一人の思いが届くよう、それぞれ
の思いをメッセージカードに綴りました。

2024年(令和6年)2月29日 木曜日 愛媛 松山 新聞 松山

中島の縁 支援で再び



石川愛七尾市中島中学校の生徒へのメッセージを記入する
松山市の中島中生一28日午前、松山市長館

松山と七尾合併前の姉妹町

能登地震

能登半島地震をきっかけに、愛媛・石川両県
の「中島」が平成の大合併前に結んだ縁で再び
つながっている。松山市中島地域では中学生が
応援メッセージをしたため、農家はかんきつを
送付。それぞれが互いに支え合っている。松山市
に寄せ「自分たちができることを」と支援の輪を
広げている。

カードやかんきつ送付 復興願い 交流活発



「応援の気持ちを伝えたい」とイヨカン
などを送った「中島小漁みかん会」の前
崎誠さん28日午前、松山市小島

「中島」は合併前の松山郡中島
町と能登郡中島町。全国に二つし
かない同じ自治体名の縁で、19
89年8月に友好少年使節として
小学生が訪問し交流が始ま
った。20年5月に姉妹町提携を結
結、能登郡中島町が七尾市と合併
する2024年まで町々多くの青
少年交流が活発に続いた。

「同じ「中島中学校」として支
援できることはないか、みんな
考えよう」。松山市長館の中島中
学校で始まった1月9日、
長野県太田校長50が全校生徒20
人に呼びかけた。

能登半島の真ん中に位置し七尾
市に面する七尾市中島町は、断
水・道路の亀裂・家屋損壊などの
被害が生じた。七尾市の中島中
校は1月9日の予定だった
（1）は「能登半島の情報を集めた
（2）で、距離は遠くても身近な存
在に記した。

生徒会長の2年品川「秀さん
（1）は「能登半島の情報を集めた
（2）で、距離は遠くても身近な存
在に記した。

2月28日、町教育委員会担当者
として使節団を率えたのがあ
る中島公民館の新谷和志館長（68）
「元中島小学校校長」が交流の歴史
などについて講話。生徒は七尾市
中島中生に「同じ中島中として支
援しています」「一日も早い復興
を願っています」などとメッセー
ジを送った。

2月26日、町教育委員会担当者
として使節団を率えたのがあ
る中島公民館の新谷和志館長（68）
「元中島小学校校長」が交流の歴史
などについて講話。生徒は七尾市
中島中生に「同じ中島中として支
援しています」「一日も早い復興
を願っています」などとメッセー
ジを送った。

2月26日、町教育委員会担当者
として使節団を率えたのがあ
る中島公民館の新谷和志館長（68）
「元中島小学校校長」が交流の歴史
などについて講話。生徒は七尾市
中島中生に「同じ中島中として支
援しています」「一日も早い復興
を願っています」などとメッセー
ジを送った。

「中島の縁 支援で再び」2024年2月29日付愛媛新聞
(掲載許可番号:d20240229-02)